

はじめに

コンピュータシステム・シンポジウム(Computer System Symposium、ComSys)は、情報処理学会「システムソフトウェアとオペレーティング・システム」研究会(SIGOS)が主催するシンポジウムです。今年は、お茶の水女子大学において開催されます。1987年に第1回コンピュータシステム・シンポジウムが開催され、システムソフトウェア分野の最新の研究成果が集まる機会として今回で第27回を数えます。本シンポジウムは、OSを中心に分散処理、並列処理、オブジェクト指向を経て、仮想化、クラウドコンピューティング、ディペンダブルコンピューティング、セキュリティとその基盤ソフトウェアなどを題材として、OS やシステムソフトウェアの最先端の話題を取上げ、時代の流行を先取りした研究テーマを議論してきました。

今回の前日の研究会は組込みシステム研究会と共催研究会、また翌日には BitVisor Summit4を開催する日程となっています。システムソフトウェアおよび組込みシステムの研究者、また日本発の仮想マシンモニタである BitVisor の開発者、BitVisor を題材として研究を展開している研究者との議論を通じて、お互いのコミュニティ自身を活性化する起爆剤となることを期待しております。

また、ComSys 2015 では査読付き論文を取りやめ、昨年度に引き続き、投稿いただいた論文は全て発表していただき、“コメントフィードバック”という試みを始めました。本シンポジウムのコメントフィードバックは、システムソフトウェアコミュニティの研究者から、投稿いただいた論文に対してのコメントを著者に送るという仕組みです。これによって、ComSys 2015 をステップに著名な国際会議や海外論文誌へ投稿することができます。今回は 4 本の論文が投稿され、内容はビッグデータ処理技術、インメモリ処理など先端的な話題になっており、当日の発表では深い議論を行えればと考えております。また、例年好評のポスター発表も実施いたします。招待講演には、東京大学の中尾彰宏氏をお招きして、ネットワーク技術に関する最先端な話題についてご講演いただきます。また、スペシャルセッションとして、今年に開催されたシステム分野の主要会議である SOSP '15 にて発表された最先端技術の報告を東京農工大学の山田浩史氏に行っていただきます。

OSやシステムソフトウェア分野の発展は、新たなアプリケーションを産み出し、新しいハードウェアプラットフォームを活かしていくという意味で、大きな社会的使命を担っております。本シンポジウムから次の時代のOSやシステムソフトウェアを生み出せればと考えております。また、平素の研究会、シンポジウムにおいてシステムソフトウェアの研究開発、産学連携、人材発掘と育成、人的交流などを今後も推進していければと考えております。今後とも本研究会およびシンポジウムがさらに発展するよう、今後とも皆様のご支援・ご協力を賜れば幸いです。

2015 年 11 月
第 27 回コンピュータシステム・シンポジウム 運営委員長
廣津 登志夫 (慶應義塾大学)
第 27 回コンピュータシステム・シンポジウム 幹事
山田 浩史 (東京農工大学)